

山田みやこの活動報告

平成30年9月9日(日)

福島^①の市民活動の今

「未来会議」で福島(と自分たち)の未来を話そう in 宇都宮に参加

1部のどんぐり座の「糸つむぎ姫」の公演にひきつづき、2部は「未来会議in宇都宮」ワールドカフェ方式で福島・故郷・自分たちの未来について対話。

東日本第震災と原発事故により仕事、環境、価値観の違いなどにより、分断や軋轢を引き起こした。福島には長期的に続く、誰も経験したことがない問題が山積している。対立ではなく一緒になって考えることが大切。未来への種を育むためにも、考える時間が必要ということで、対話の場「未来会議」をスタートした。

参加対象は福島から避難に来ている方、県内に移住・定住・定着した方、支援者、一般の関心ある方。人と人が出会い、感じていることを共有し、違いや問題から気づきや学びを得る。一人一人が一步を踏み出すきっかけになることを目指している。ファシリテーターはいわき市の袋中寺副住職をしておられる霜村真康さん。

被災し、大田原に暮らす70代の女性は、40年掛かって自分の財をつくり上げ、老後はゆったりと過ごそうと努力してきたが、一瞬にして放射能により全てを奪われてしまった。今後の充実した暮らしなんて考えられない。しかし生きていかなければならない、と私はとにかく聴くことしかできなかったが、当事者の真の強さに感動した。

